男子ホッケー　第3回アジアチャンピオンズトロフィー

日　付	2013年11月2日 14:30～15:50		
場　所	日本・各務原	天　候	晴れ
試　合	第1戦	通算結果	日本　1勝

Country	RESULT			Country
日本	Full Time	1	－ 0	マレーシア
JAPAN	Half Time	0	－ 0	MALAYSIA

Minute	Shrit#	Name	GREEN	YELLOW	RED
✔	1	高瀬克也（GK）			
✔	3	粥川幸司（C）			
✔	4	小野知則			
✔	6	河内伸仁			
	7	森嶋彬(GK)			
9	8	塩川直人			
✔	10	中山康大	45		
6	11	川上啓			
✔	12	藤本一平			
✔	14	長澤克好			
✔	15	山下学			
✔	16	畠山学			
15	18	井島光希			
✔	20	川上良平			
5	29	山部晃嗣			
5	30	吉原平太			
✔	32	橘敏郎			

Coach	姜建旭
Team Manager	木原征治
UMPIRE	Jang Jung Min(KOR)

Minute	Shrit#	Name	GREEN	YELLOW	RED
✔	2	AHMAD KAZAMIRUL BIN NASRUDIN			
✔	4	MUHAMMAD AZAMMI ADABI			
✔	6	MUHAMMAD MARHAN MOHD JALIL			
21	7	AMIRULLAH BIN ZAINOL			
✔	8	IZWAN FIRDAUS AHMAD TAJUDDIN			
✔	9	MOHD MADZLI IKMAR BIN MOHD NOR			
✔	10	FAIZAL SAARI			
✔	12	MOHAMAD SUKRI ABDUL MUTALIB			
8	13	ISMAIL BIN ABU			
✔	14	AZLAN BIN MISRON (C)			
✔	15	NABIL FIQRI MOHD NOOR			
✔	16	KUMAR SUBRAMIAM(GK)			
✔	17	MUHAMMAD RAZIE ABDUL RAHIM	6		
10	19	MUHAMMAD RAMADAN ROSLI			
59	24	MEGAT AZRAFIQ MEGAT TERMIZI			
9	26	AZREEN RIZAL BIN NASIR			
18	27	ENGKU ABD MALIK ENGKU MOHAMAD	27		
	29	KAIRULNIZAM IBRAHIM(GK)			

Coach	PAUL REVINGTON
Team Manager	NADARAJAN MARATHUMTHU
UMPIRE	Thani Saheem(OMA)

Team	Minute	Name	Action	Score
JPN	70	山部晃嗣	FG	1-0

Team	Minute	Name	Action	Score

第3回アジアチャンピオンズトロフィー初戦は、世界ランキング16位の日本に対し、13位のマレーシアとの対戦である。
（前半）
立ち上がりは守備をしっかりと固める日本に対して、マレーシアがやや優位に試合を進める展開となる。14分マレーシアはレフトの高い位置でボールを奪い、サークルインするとPCを取得。これは日本GK高瀬がドラッグフリックシュートのリバウンドシュートも含め、冷静に処理し得点を与えない。日本は17分レフトのサークルトップのセットプレーから中山がサークルインすると最後は山部がPCを取得する。このPCは2連続で奪うも、得点を奪うことができない。31分日本は中盤で中山がボールを奪うと、藤本と吉原を含めたコンビネーションでパスを繋ぎライトからサークルインすると、最後はレフトから走り込んだ河内がダイレクトヒットシュートを試みるが、これは惜しくもゴール右に外れ得点ならず。前半は両チーム無得点で試合は後半へ。
（後半）
後半に入ると日本はボールへの素早いチェックで、何度かマレーシアからボールを奪いチャンスを作るが、得点を奪うには至らない。その後マレーシアも反撃に入り、日本ゴールに攻め込むが、キャプテン粥川・GK高瀬を中心とした守備陣は冷静に対応し、得点を与えない。試合終盤に入ると、得点の欲しい両チームの攻守が何度も入れ替わる展開となる。63分マレーシアは23mライン手前の中央からサークル内へのパスでPCを取得する。日本はこのPCのドラッグフリックシュートを山下が身体を張って死守する。試合終了間際には、日本が何度もマレーシア陣内に攻め込むと、68分粥川がマレーシアの苦し紛れのスクープボールを素早く処理し、ロングボールを前線の藤本に渡すと、藤本からフリーでボールを受けた橘が右45度から放ったシュートは、ゴール左に僅かに外れる。70分マレーシアは最後の攻撃を仕掛けると、ドリブル突破は失敗に終わりバックラインにボールがこぼれ、日本ボールとなる。このままスコアレスドローの引き分けで終わるかと思われたが、粥川が素早くスクープボールを前線の橘に送り、レフトからのセンタリングに川上啓がタッチシュートすると、GKのファインセーブのこぼれ球に反応した山部がボールを流し込み、日本は試合終了2秒前に劇的なゴールで勝利を飾った。
日本は重要な初戦の勝利を宿敵マレーシアからもぎ取った。

日本	8	シュート数	11	マレーシア
	2	PC数	3	

次戦（第2戦）　11月3日（日）18:30　～　日本対インド

記載責任者：男子コーチ　藤原　信幸
校閲：男子強化部長　木原　征治